

デジタル胸部検診車を整備しました！

この度、公益財団法人結核予防会を通じ、一般財団法人日本宝くじ協会の全額補助を受けて、最新鋭のデジタル胸部検診車を更新整備しました。

1. 目的

肺がんや結核等の早期発見及び早期治療を図るため検診車を整備し、もって県民の健康増進に寄与する。

2. 整備事業費

47,390,400円（一般財団法人日本宝くじ協会による全額補助）

3. 特徴

X線を検出するデジタルラジオグラフィシステムを高感度で高精細・高画質のものとする事で受診者の被曝線量が軽減し精度の高い検診が実施できるとともに、検診車内をバリアフリーとすることで受診者の安全性を向上し高齢者や身体障がい者に優しい検診が実施できます。

また、検診時の外部電源が確保できないときの電源をニッケル水素蓄電池とすることで無公害検診車としています。

4. 背景

徳島県の肺がんによる死亡率及び結核罹患率は、ともに全国平均を大きく上回る結果となっています。そのような中、過疎・高齢化が急速に進展するとともに、医療資源の偏在も顕著であることから、肺がんや結核等の早期発見のための巡回検診の重要性は益々増大しています。

当機構では4台の胸部検診車により県下全域の検診を行い、医療機関の少ない地域においても精度の高い胸部検診を県民に等しく提供する上で重要な役割を担っています。

当機構といたしましては、この最新鋭の撮影機器を搭載した新しいデジタル胸部検診車を駆使して県内全域を巡回し、県民の皆様の肺がんや結核等の早期発見・早期治療、健康増進を図るため、この検診車を大いに活用させていただきます。



(披露式)



(テープカット)



(引渡式)





(X線撮影装置)



(操作室)



(撮影室)



(待合室)